

令和3年度

第4回
共創機構
講演会

令和3年11月8日(月)

開催日時

14:00-15:00

オンライン開催(事前申込必要)

日本のイノベーションの底力と
アントレプレナーシップ

Lucidaim 株式会社
代表取締役

瀬尾 亨氏



日本の科学力は世界でもトップレベルである。しかし、その社会実装では欧米諸国だけではなく、アジア諸国にも後塵を拝している。製薬企業で「目利き」という立場で創薬シーズや技術探索を行う中で、日本発の案件を見つけても、数ヶ月から遅くても1-2年後に、同じ内容でより多くのデータで飾られた紹介が他国からあることが多くなった。また COVID-19 による混沌の中、治療薬候補を積極的に募集し始めてから2-3ヶ月の間に、アジア諸国からは50件を超える案件紹介があったにも関わらず、日本からはたった2件であった。

日本の科学力が低下していると言われて久しいが、これは科学力の低下ではなく、時間軸、データ量、見える化など複合的な視点から競争力が落ちている事が原因である。今後も世界との格差はどんどん開いていくことが想像される中、日本では何ができるのか？私自身が大学の教員研究者を10年以上行い、その後、製薬企業の事業開発担当者として活動してきた中、いくつかの事例を元に、創薬シーズ・技術開発の社会実装という観点から日本の強みは何か、どこに改善が必要なのかを議論し、その中で改めてアントレプレナーシップの定義を推奨したい。

■ 講演会参加申込方法

下記 URL 大阪大学マイハンドايより参加申込をお願いします。

https://my.osaka-u.ac.jp/admin/sangaku/ccb/kouenkai/R3_4



■ 事前申込締切

令和3年11月4日(木)まで

- ・オンライン開催となりますので事前に参加申込をしてください。
- ・WEB講演の詳細につきましては、後日ご登録いただいた連絡先(メールアドレス)にご案内させていただきます。

※大阪大学マイハンドايをご利用できない方は、下記問合せ先へメールにてご連絡ください。

■ 主催

大阪大学共創機構 <https://www.ccb.osaka-u.ac.jp>

■ 問合せ先

共創推進部共創企画課企画係 [kyousou-kikou-kouenkai@uic.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousoou-kikou-kouenkai@uic.osaka-u.ac.jp)
共創推進部共創企画課総務係
共創機構産学官連携オフィス 06-6879-4875